

9 女車掌に月経時有給休暇一週間附與要求の件

提案 梅田支部

理由

青少年婦人労働者の激増は一般労働者の賃銀低下を意圖し資本家階級は生産費低減による利益の増加を計る陰謀の結果である。資本主義國内に於いては一家の主人(労働者)の得る勞賃は其の家族の生活を維持することが到底困難であるやうな低賃銀で酷使されてゐる結果労働者の家に下れた殆んど凡ての兄弟姉妹は幼年期より非衛生的で不完全極りなき工場に働かねばならぬことを餘儀なくされてゐる。特に交通婦人労働者は其の職上に於ける激務にも拘らず何等の保護施設もなく其れ故に又婦人の性的的體質關係など些かも考慮するところなく一般男子労働者同様長時間の酷使に屈せしめられてゐる、それ故に我々婦人労働者の不平と要求は限りなくあり殊に婦人自身の保健を守る爲に我々交通婦人労働者の特殊的要求として一ヶ月七日の性理休暇を與へよと最後迄絶叫するものであります。

具案

當面我々交通婦人労働者のこの要求を直接の雇主たる電氣局に向つて一般従業員の要求と結合して提出すること

10 事故に依る就業停止中手当支給要求の件

提案 梅田支部

理由

今日の電氣局の給與は人間として最小限度の僅かに生きて行けると云ふ程度でしかあり得ない。交通も亦多くの場合今日の資本主義制度の搾取的勤務規定から来る疲勞の結果に外ならぬ。故に一切の事故の責任は當然當局が負ふべき立前の上から事故に依る就業停止中手当支給の要求は我々の生活を最少限度に守るために絶対必要である。

具案

殊に最近に至りて一片の告示さへもなく隨得の手當をモグ取つたのである、我々は斷乎として其の復活を要求する。全自助會の闘争として大衆抗議に依り要求する、一切の職場内の不平不満と結びつけて當局に執拗に要求する、

11 營業路線上に於ける設備要求の件

提案 梅田支部

理由

イ、各系統に便所を設置せよ
人間の必要避く可からざる排泄作用及び女子車掌の生理的作用をまで干渉束縛すると言ふ様な非人間的なことを人間が人間に強制して居るとは一般に想像すらも出来得られない様なことであります。而かもそれが大阪市營バスでは白晝非常識極まる監督に依つて 便所するに要した時分を賃事時分から差引く」とか、「勝手に辛抱し切れず便所に行つても始末書を書け」と「報告する」とかで従業員は常におびえ惱まされて居るのであります。
斯る無益なことは勿論監督の非常識にも依るが又實に便所の設備なきことに大なる原因が存することは言はずもがなであります。

だから我々は各系統には必ず便所を設備することを要求するものであります。
ロ、郊外系統の食入を車庫でさせろ

眞實雜沓の中で、砂塵の中で、又通行人の絶え間ない街頭にうら若い娘達が自動車の中で食事することが如何に苦痛事であるか又衛生上、風紀上、如何に有害で排斥す可きことであるか多言を要せず容易に理解出来ることであります。で我々は斯様な理由のために最も簡單事實「車庫で食入をさせろ」を要求するものであります。

ハ、中休手入専門工即時雇入